

[illegible]

4 投資財政計画

(1) 投資計画

- 公共下水道事業の污水管渠についてはストックマネジメント計画に基づき、緊急性の高いものから順次改築を行います。令和12年度以降段階的に改築予算を増額させていくことで、長期での健全化維持と予算の平準化を図ります。マンホールポンプについても、老朽化度合や緊急性を鑑み、年間上限額を基準に更新を図ります。
- 農業集落排水事業については、最適整備構想で設定したシナリオに基づき、計画的な更新と適正な維持管理による長寿命化を行い、施設の安全性の維持と更新費用の抑制及び平準化を図ります。
- 概算費用として、令和36年度までの試算で公共下水道事業が年平均1.2億円、農業集落排水事業が年平均1.5億円、合計年平均2.7億円を見込んでいます。

(2) 財政・収支計画

- 安定した経営のため、経常収支比率100%以上を維持します。
- 資金残高については、基準外繰入金で不足額を補うことで現状の水準以上を維持します。

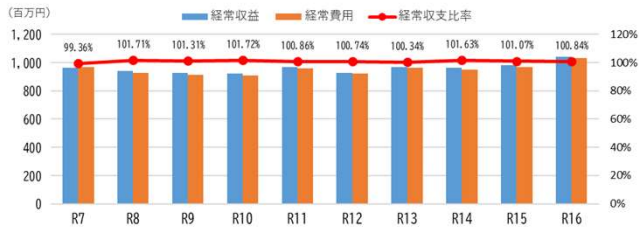
(単位：百万円)

	R7	R8	R9	R10	R11	R12	R13	R14	R15	R16
収益的収入	962	942	927	924	969	929	967	965	980	1,039
収益的支出	968	926	915	908	961	922	964	950	969	1,030
資本的収入	312	296	322	553	321	601	530	398	568	516
資本的支出	541	546	575	789	538	789	685	624	766	687
基準内繰入金	395	384	381	374	371	346	341	331	328	328
基準外繰入金	430	364	335	335	376	338	369	260	261	312
資金残高	308	305	298	317	380	437	561	617	712	856

5 経営指標の見直し

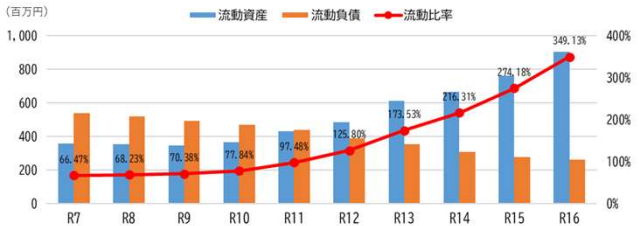
(1) 経常収支比率

- 使用料収入や一般会計繰入金などの収益で、維持管理費や支払利息などの費用をどの程度賄えているかを表す指標です。
- 計画期間内はほぼ100%以上を維持する見直しとなります。ただし、収益の不足分は一般会計繰入金で賄っていることに留意が必要です。



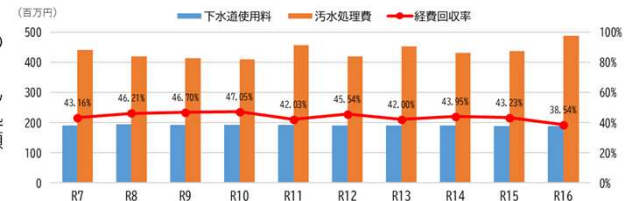
(2) 流動比率

- 流動負債に対する流動資産の割合であり、短期的な債務に対する支払い能力を表す指標です。
- 農業集落排水事業における企業債償還金減少により流動負債が減少するため比率は増加する見直しです。



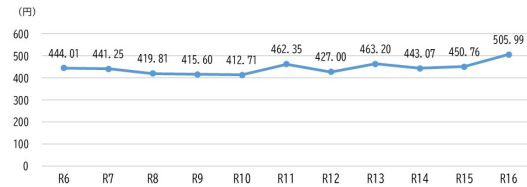
(3) 経費回収率

- 使用料収入で回収すべき経費を、どの程度賄えているかを表す指標です。
- 使用料収入の大きな減少はありませんが、物価高騰の影響などにより污水处理費が増加するため、全体的に減少傾向となる見込みです。



(4) 污水处理原価

- 有収水量1mあたりについて、どれだけ費用がかかっているかを表す指標です。
- 物価高騰の影響などにより污水处理費が増加するため、全体的にやや増加傾向となる見直しです。



(5) 経営指標などの目標値

項目	単位	望ましい動き	公共下水道事業			農業集落排水事業			特定地域生活排水処理事業		
			実績 令和5 (2023) 年度	目標値 令和10 (2028) 年度	目標値 令和15 (2033) 年度	実績 令和5 (2023) 年度	目標値 令和10 (2028) 年度	目標値 令和15 (2033) 年度	実績 令和5 (2023) 年度	目標値 令和10 (2028) 年度	目標値 令和15 (2033) 年度
① 企業債残高	億円	↓	36.0	24.7	8.9	8.5	3.0	0.0	2.9	2.3	1.2
② 一般会計からの繰入金	億円	↓	5.3	3.8	2.3	3.7	2.9	2.1	0.4	0.3	0.2
③ 基準外繰入金	億円	↓	1.5	1.4	1.3	2.5	1.7	0.8	0.3	0.1	0.1
④ 経常収支比率	%	↑	102.74	100.00	100.00	103.56	100.00	100.00	103.26	100.00	100.00
⑤ 累積欠損金比率	%	↓	259.65	137.21	50.41	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
⑥ 流動比率	%	↑	71.44	70.00	70.00	137.94	100.00	100.00	552.81	674.60	796.39
⑦ 経費回収率	%	↑	41.15	50.00	60.00	85.65	92.80	100.00	62.18	67.50	72.62
⑧ 污水处理原価	円	↓	624.66	552.84	483.18	188.00	178.00	168.00	296.97	284.64	273.33
⑨ 水洗化率	%	↑	64.56	69.86	74.07	82.68	86.22	88.45	100.00	100.00	100.00

6 経営戦略の事後検証、改定などに関する事項

本経営戦略については、PDCAサイクルに基づき、計画の策定（Plan）・事業の実行（Do）・達成度の評価（Check）・改善（Action）を行い、フォローアップしていきます。

このうち達成度の評価及び改善については、モニタリング及びローリングにより実施します。

(1) モニタリング

- 投資計画の進捗確認と財政状況（損益、資金残高、企業債残高）の確認を毎年度実施します。
- モニタリングにおいて計画との大きな乖離が認められた場合には、次に示す計画見直し（ローリング）を待たずに、計画の全体的な見直しや再検討を実施します。

(2) ローリング

- 計画期間内のおおむね5年ごとに本経営戦略の見直し（ローリング）を行うものとします。
- 見直しにあたっては、モニタリングを踏まえて、収支計画の計画値と実績の乖離状況について検証のうえ、投資計画をはじめ各支出項目を全体的に見直し、その財源確保策など、必要な改善策を検討します。

